

令和5年(2023年)8月23日

(宛先) 富士市長

団体名 NPO法人富士市のごみを考える会

代表者名 小川 浩

1 提案内容

提案区分	☒ 市民提案型 ☐ 行政提案型 (課題No. , 担当課:)	
提案事業名	夏休み親子富士市のリサイクル施設探検ツアー (資源ごみのゆくえを探検しよう) 1回目: 富士市内の資源ごみ回収・圧縮梱包保管事業者 2回目: 富士市外のプラスチック容器包装・ペットボトルリサイクル事業者	
提案の目的・必要性 解決しようとする課題と提案事業実施の必要性について記入して下さい。	富士市新環境クリーンセンターが稼働し、富士市内の小学4年生は学校の授業の一環として毎年見学している。新環境クリーンセンターでは、燃えるごみがどのように収集され、燃やされているかを学び、ごみ減量の必要性を理解する。しかし、燃やすごみの学びはあるが、資源ごみで集められたビン・缶・ペットボトル・古紙・プラスチック容器包装・古着等がごみ集積所に集められた後、どこに運ばれ、どのようにリサイクルされているかを学ぶ機会はない。そこで、夏休みに、富士市内外で稼働しているリサイクル施設を回り、実際にどのようにリサイクルされていくのかを学ぶ必要があると感じ、企画した。それは、子どもたちのみならず、保護者の方々にも必要なことである。資源ごみのゆくえとリサイクルの重要性を理解させる事は、SDGs 未来都市を目指す富士市にとって、3Rを基軸とした持続可能な社会づくりに向けての貴重な機会の提供になると確信する。	
協働の必要性・メリット	必要性	富士市(行政)との協働の必要性は、ごみの減量化とリサイクル率の向上を目指す上で行政、業界、市民の協働は必須であり、その上で、子供達や家庭における協力を仰ぐことになり、効果的な活動となる。今回の事業において、行政が関わらなければ、市内外各所のリサイクル事業者を回することは不可能である。リサイクル事業者の同意を得て、業務中に時間を割いていただき、子どもたちの安全を図りながらお話を伺うことは、行政の協力があってこそである。富士市内外の資源ごみを扱っている事業者が安心して協力することができるためには、富士市の協力は必要である。
協働事業として実施する必要性を記入してください。 また、実施することによってそれぞれが享受できるメリットを具体的に記入してください。	メリット	(市民のメリット) 当会は富士市環境アドバイザーとして、普段より3Rやごみ減量についての講座を児童生徒に行っているが、その中でリサイクルの行程を説明していると「実際に見てみたい」「大きな磁石ってどれくらい？」などの質問が寄せられる。燃やすごみのゆくえは新環境クリーンセンターの見学で学ぶことができるが、資源ごみのゆくえはこのような見学の機会がない限り知る機会がない。資源ごみのゆくえとリサイクルの重要性を理解し、そこで働いている人たちの思いを知ること、3Rの必要性を理解しごみ減量への意識が高まる。市民が自分たちが出している資源ごみのゆくえを知ることの意味は大きい。子どもたちにとっては、夏休みの課題研究のテーマになる。 (団体等のメリット: 行政の持つツール等の活用や信頼性の確保など) リサイクル事業者の協力が得られるようになる。リサイクル事業者が安心して協力できる。広報ふじや広報SNSで発信していただける。バスの借り上げなど団体単独では難しい財政面での協力が得られる。 (市のメリット: 団体等が持つ専門性やノウハウの活用など) 富士市環境アドバイザーである当NPO法人が作成した「3R+ってなあに」という小冊子を使って、バスの中で、事前学習として3Rについての学習を当会が担うことができる。3R小冊子を参加者に配布することで、家庭に帰ってからも学びの継続を図ることができる。市民が、3Rの学びを深めることで、ごみ減量が図られ、資源ごみの分別がしっかりとされ、リサイクル率が上がる。ごみのポイ捨てをする市民を減らすことができる。食品ロスを学ぶことで、食品ロスに気を付ける市民が増える。「さんあ〜る」アプリのインストールをバスの中で行ってもらえることができる。参加者にリサイクル施設の見学中にその体験をSNSにアップしてもらい、参加者以外の市民にも資源ごみがどのようにリサイクルされているかを知らせることができる。市民全体のごみ減量につなげることができる。



提案のセールスポイント 提案の先駆性、先進性、創意工夫など評価項目に対するセールスポイントを記入してください。	●資源ごみのゆくえは、実際には市民に知らされていない。しかし、資源ごみを分別して出しているのは市民である。市民が資源ごみのゆくえを知り、自分たちが行っているごみ分別の成果を知ることの意義は大きい。 ●目的は、ごみ減量の目標達成、新環境クリーンセンターの二酸化炭素排出量削減、リサイクル率のアップ、ごみのポイ捨てなしの社会の実現。 ●海岸や道路のごみ拾いを行っている、ペットボトルとプラスチック容器包装ごみが圧倒的に多い。それらが及ぼす影響、今の社会問題は自分たち市民の行動にかかっていることを知ってもらうことの意義は大きい。 ●富士市内のリサイクル事業者と行政のかかわりの中に、市民とNPO法人のつながりができることで強力な3R実現への体制ができる。 ●資源ごみのゆくえを知る市民メリットのみならず、市内の事業者にとっても事業内容が市民生活に寄与していることを知ってもらうメリットがある。 ●行政はごみ減量が図られ、リサイクル率が上がり、海岸のプラスチックごみの原因となるポイ捨てごみが減るメリットは大きい。				
事業内容及びスケジュール 実施しようとする事業の内容及び事業の流れなどを時系列、箇条書きで具体的に記入してください。	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="379 510 435 813">事業内容</td><td data-bbox="443 432 1508 813"> 夏休み中に2回、バスを借り上げ、ふじさんエコトピアに集合し、富士市の分別に従い資源ごみの収集運搬圧縮梱包保管等々を行っている市内事業者を見学し、説明を聞く。具体的には、ビンの回収保管等を行う三橋商店、缶・金属の収集圧縮梱包保管を行う稲葉商店、ペットボトル圧縮梱包を行う市川商店、その他の紙のリサイクルを行うコアレックス信栄製紙、プラスチック容器包装・古着・ふとんの回収圧縮梱包を行う安藤紙業を見学する。 2回目は、菊川市のプラスチック容器包装リサイクル事業者グリーンループ、その後、ペットボトルリサイクルを担う鈴与エコプロダクツを視察する。実施にあたり、親子(友人の親が付いている場合は子どもだけでも可)の参加者を各回ごとと募集する。広報ふじ、広報SNS等で参加者を募る。終わってから、感想等を寄せてもらい、SNSで発信する。事業のfacebookイベントページを作成し参加者の募集のみならず、事業実施途中及び終了後に、参加者自身でイベントページや自身のSNSに参加体験の様子をアップしてもらう。 </td></tr> <tr> <td data-bbox="379 824 435 1305">スケジュール</td><td data-bbox="443 824 1508 1305"> 夏休み中の平日2日間を予定 1回目 ・8:30ふじさんエコトピア集合 →8:40出発 →バスの中(自己紹介、スケジュール、「3R+ってなあに」小冊子配布説明) →9:00 三橋商店到着(ビンについて説明施設見学) →9:45出発 →10:00 稲葉商店到着(缶リサイクル説明施設見学) →10:45 出発 →11:00 市川商店到着(ペットボトル収集圧縮梱包説明施設見学) →11:45出発 →12:00 富士川楽座到着(昼食と休憩) →13:00集合出発 →13:15 コアレックス信栄製紙(その他の紙リサイクル説明工場見学) →14:15出発 →14:30安藤紙業到着(プラスチック容器包装収集圧縮梱包説明見学) →15:00出発(東名) →15:30ふじさんエコトピア到着、展示室にて本日のまとめと感想→16:00解散 2回目 ・11:00ふじさんエコトピア集合・受付・研修→11:30出発(バスの中でお昼を食べる)→牧之原SA(トイレ) →13:00菊川市グリーンループ到着(ビデオ学習と工場見学、プラスチックリサイクル) →14:20出発 →14:45鈴与エコプロダクツ(ペットボトルリサイクル) 工場見学 →15:15出発→牧之原SA(トイレ) →16:45ふじさんエコトピア到着・展示室にてまとめと感想→17:15解散 </td></tr> </table>	事業内容	夏休み中に2回、バスを借り上げ、ふじさんエコトピアに集合し、富士市の分別に従い資源ごみの収集運搬圧縮梱包保管等々を行っている市内事業者を見学し、説明を聞く。具体的には、ビンの回収保管等を行う三橋商店、缶・金属の収集圧縮梱包保管を行う稲葉商店、ペットボトル圧縮梱包を行う市川商店、その他の紙のリサイクルを行うコアレックス信栄製紙、プラスチック容器包装・古着・ふとんの回収圧縮梱包を行う安藤紙業を見学する。 2回目は、菊川市のプラスチック容器包装リサイクル事業者グリーンループ、その後、ペットボトルリサイクルを担う鈴与エコプロダクツを視察する。実施にあたり、親子(友人の親が付いている場合は子どもだけでも可)の参加者を各回ごとと募集する。広報ふじ、広報SNS等で参加者を募る。終わってから、感想等を寄せてもらい、SNSで発信する。事業のfacebookイベントページを作成し参加者の募集のみならず、事業実施途中及び終了後に、参加者自身でイベントページや自身のSNSに参加体験の様子をアップしてもらう。	スケジュール	夏休み中の平日2日間を予定 1回目 ・8:30ふじさんエコトピア集合 →8:40出発 →バスの中(自己紹介、スケジュール、「3R+ってなあに」小冊子配布説明) →9:00 三橋商店到着(ビンについて説明施設見学) →9:45出発 →10:00 稲葉商店到着(缶リサイクル説明施設見学) →10:45 出発 →11:00 市川商店到着(ペットボトル収集圧縮梱包説明施設見学) →11:45出発 →12:00 富士川楽座到着(昼食と休憩) →13:00集合出発 →13:15 コアレックス信栄製紙(その他の紙リサイクル説明工場見学) →14:15出発 →14:30安藤紙業到着(プラスチック容器包装収集圧縮梱包説明見学) →15:00出発(東名) →15:30ふじさんエコトピア到着、展示室にて本日のまとめと感想→16:00解散 2回目 ・11:00ふじさんエコトピア集合・受付・研修→11:30出発(バスの中でお昼を食べる)→牧之原SA(トイレ) →13:00菊川市グリーンループ到着(ビデオ学習と工場見学、プラスチックリサイクル) →14:20出発 →14:45鈴与エコプロダクツ(ペットボトルリサイクル) 工場見学 →15:15出発→牧之原SA(トイレ) →16:45ふじさんエコトピア到着・展示室にてまとめと感想→17:15解散
事業内容	夏休み中に2回、バスを借り上げ、ふじさんエコトピアに集合し、富士市の分別に従い資源ごみの収集運搬圧縮梱包保管等々を行っている市内事業者を見学し、説明を聞く。具体的には、ビンの回収保管等を行う三橋商店、缶・金属の収集圧縮梱包保管を行う稲葉商店、ペットボトル圧縮梱包を行う市川商店、その他の紙のリサイクルを行うコアレックス信栄製紙、プラスチック容器包装・古着・ふとんの回収圧縮梱包を行う安藤紙業を見学する。 2回目は、菊川市のプラスチック容器包装リサイクル事業者グリーンループ、その後、ペットボトルリサイクルを担う鈴与エコプロダクツを視察する。実施にあたり、親子(友人の親が付いている場合は子どもだけでも可)の参加者を各回ごとと募集する。広報ふじ、広報SNS等で参加者を募る。終わってから、感想等を寄せてもらい、SNSで発信する。事業のfacebookイベントページを作成し参加者の募集のみならず、事業実施途中及び終了後に、参加者自身でイベントページや自身のSNSに参加体験の様子をアップしてもらう。				
スケジュール	夏休み中の平日2日間を予定 1回目 ・8:30ふじさんエコトピア集合 →8:40出発 →バスの中(自己紹介、スケジュール、「3R+ってなあに」小冊子配布説明) →9:00 三橋商店到着(ビンについて説明施設見学) →9:45出発 →10:00 稲葉商店到着(缶リサイクル説明施設見学) →10:45 出発 →11:00 市川商店到着(ペットボトル収集圧縮梱包説明施設見学) →11:45出発 →12:00 富士川楽座到着(昼食と休憩) →13:00集合出発 →13:15 コアレックス信栄製紙(その他の紙リサイクル説明工場見学) →14:15出発 →14:30安藤紙業到着(プラスチック容器包装収集圧縮梱包説明見学) →15:00出発(東名) →15:30ふじさんエコトピア到着、展示室にて本日のまとめと感想→16:00解散 2回目 ・11:00ふじさんエコトピア集合・受付・研修→11:30出発(バスの中でお昼を食べる)→牧之原SA(トイレ) →13:00菊川市グリーンループ到着(ビデオ学習と工場見学、プラスチックリサイクル) →14:20出発 →14:45鈴与エコプロダクツ(ペットボトルリサイクル) 工場見学 →15:15出発→牧之原SA(トイレ) →16:45ふじさんエコトピア到着・展示室にてまとめと感想→17:15解散				
事業の目標 事業完了時の達成目標について、数値等を用いて具体的に記入してください。	当会は、これまで富士市環境アドバイザーとして「まちづくり少年教育事業」等を行っており、令和5年6月11日には、ボーイスカウトビーバー隊富士地区集会(70名。ふじさんエコトピア)を行うと共に、令和5年6月24日富士市のごみを考える会主催で「もったいない音楽会」を開催、およそ50名の富士市民が集まり音楽を通じて3Rについて等のごみの勉強を行った(別紙参照)。 本事業の実施にあたっては、各回参加者30人以上(年間参加者60人以上)を目標とし、ごみ削減、環境美化意識の醸成と拡大を図りたい。本事業の実施により、参加者にリサイクルのプロセスを実体験で知ってもらい、SNSや友人同士の口コミでそれらが広がることの影響は大きく、若い世代にごみは資源であること、自分たちが日々出しているごみがどのように多くの人の手によって処理させているのかを知ることでごみ減量につながっていくものと確信する。また、子どもたちが夏休みの課題研究、夏休みチャレンジなどにおいて、資源ごみのゆくえやリサイクルの工程を学び、それらを研究発表することで、学校内での広がりが期待できる。				
役割分担 団体等と市の役割を具体的に記入してください。	(団体等の役割) 事業の企画・運営・報告。具体的には、チラシを作成配布、facebookページで同企画のイベントを立ち上げ、参加者募集を行う。バスの手配、参加者集計、人員の配置、事業者との打ち合わせ、時間的な手配等、3R+ってなあにの冊子配布、説明、子どもたちの気づきノート作成、バスの中及びリサイクル施設での安全確認、点呼、子どもたちの誘導、報告書のまとめ、資料作成配布。会計処理、会計報告。 (市の役割) 広報ふじ、広報ふじSNSへのアップ、報道提供、市民協働事業であることをリサイクル事業者に知らせることの承認、				